



市立岸和田市民病院だより

# うらら

第16号  
令和4年3月

【発行】  
市立岸和田市民病院  
広報委員会

## 特集 各部屋の紹介

- 中央手術室
- 血管造影室
- 集中治療室



提供：星光こども園様

### 当院は泉州地域唯一の国指定「地域がん診療連携拠点病院」です

#### 【目次】

P.2～3……【各部屋の紹介】

・中央手術室

P.4～5…… ・血管造影室

P.6～7…… ・集中治療室

P.8 …… ミニレシピ

編集後記

#### ～基本理念～

- ・市民の皆さんが安心して心のこもった良質な医療を受けられる病院をめざします。
- ・患者さん一人ひとりの権利と安全を確保し、絶えず向上心をもって皆さんに信頼されるよう努めます。

#### ～基本方針～

- ・市民の皆さんが安心して良質な医療を受けられるように高度・専門医療と救急医療を充実する。
- ・患者さんが医療の中心であることを忘れず、個人の知る権利と決定する権利を尊重する。
- ・患者さんと職員の安全を確保する。
- ・地域の中核病院として地域医療連携を推進する。
- ・職員の教育・研修を充実し、絶えず向上心を持って努力する。



温かい心をもって、  
良質で高度な  
医療を提供します。

広報誌  
うらら

泉州地方では、わたし達・おれ達という意味で、「うらら」や「おらら」が使われていました。いつまでも、わたし達・おれ達に愛される市民病院でありたいとの願いをこめて、「うらら」と名付けました。



市立岸和田市民病院  
ロゴマーク

このマークは岸和田市の頭文字「K」と「若葉」をモチーフに大空に飛び立つ鳥をイメージしています。「若葉」には若々しさや、健康、信頼関係。そして質の高い医療を温かい心で市民のみなさまに提供する心を表現しています。また飛び立つ「鳥」には地域医療の中核病院として、地域とともに発展していく姿を表現しています。

## ～ 中央手術室 ～

### 中央手術室の紹介

中央手術室は、14診療科の手術を8室で実施しています。最近はコロナ禍で手術件数が減少していますが、年間3500件ほどの手術を行っています。

私たち手術室では、患者さんが安全に、そして安心して手術を受けていただくために、様々な活動を行っています。

まず、手術は各診療科医師により申し込みを行い、患者さん一人ずつ、その手術に応じた手術器械や材料を物品管理室・中央滅菌室で準備し、手術室看護師が医師と調整し最終確認します。各手術室の中央にはクリーンホールという部屋があり、最も空気の清浄度が高い環境で手術器材を準備しています。また、整形外科など人工関節などの器械を使用する手術室も最も空気の清浄度が高い部屋で行っています。

また、手術室では各手術を担当する医師・麻酔科医・手術室看護師・臨床工学士・放射線技師など、さまざまな職種と連携し、情報共有を行い、手術の計画を考え実施しています。そして、安全に手術を受けていただくために、患者さん自身にお名前や手術部位など確認を行っています。

そして、まだ一部の診療科ですが、手術が決定してから入院までに手術室看護師が手術を受ける患者さんと面談し、手術後の合併症を最小限にするための説明を行い、手術の準備を整えていただけるように支援しています。また、患者さんの手術に対する不安は様々ですが、できる限り患者さんの不安を軽減できるように、患者さんお一人お一人に、お話を伺い対応しています。今後は、より多くの患者さんに対応できるように、さらに診療科を拡大していきたいと考えています。さらに、手術を受けられる患者さんが入院されてからは、手術前日に患者さんのお部屋を訪問し、手術に関する最終確認を行い、手術準備を整えています。手術に関して不安を抱えておられる患者さんは遠慮なくお声をかけてください。

最後に、患者さんの負担が少なく手術による侵襲ができる限り最小限となるように、医療は進歩し様々な医療機器・材料などが開発されています。今年も、当院の手術室でロボット手術が導入される予定です。手術はより専門的な技術や知識が必要とされる部署です。私たち手術室看護師は、日々、医療機器・材料などを安全に使用できるように準備を整え、医師をはじめ様々な職種とチーム力を高め手術を受ける患者さんをお持ちしています。

### 中央手術室のスタッフ



## 中央手術室で活躍する医療機器



人工心肺装置とは、心臓血管外科手術の際、一時的に心臓（血液を全身に送り出す）と肺（血液中に酸素を取り入れる）の機能を代行する医療機器です。



麻酔器とは、全身麻酔をかけるにあたって麻酔の管理を行うための機器です。全身麻酔をかけるにあたって必要な、酸素や麻酔ガスの供給量を調節することができ、同時に人工呼吸器の役割も果たし、全身麻酔では必要不可欠です。

## 中央手術室の風景



## ～ 血管造影室 ～

### 血管造影室の紹介

手術室に近い清潔な部屋で血管撮影専用のX線装置を用いて施術します。足の付け根や手首・肘等からカテーテルと呼ばれる細い管を血管に挿入して、造影剤を血管内のカテーテル先端から注入し、病変部分の血管を造影して診断・治療を行います。基本的には局所麻酔で手技は行われますが、全身麻酔下での手技も行われます。

・放射線科医師の担当としては、主に肝臓等にできた腫瘍の栄養血管となる動脈に薬や塞栓物質を注入して詰める治療を行います。また、緊急で交通外傷等の出血や消化管出血等の出血の原因である血管を詰め止血治療も行います。

・循環器内科医師の担当としては、心臓を栄養する冠動脈を検査する心臓カテーテル検査や心筋梗塞・狭心症の様に狭くなった冠動脈の血管径を拡げるバルーンやステント（血管径を維持する為の筒状の物）を使用し血流を保つ治療をします。また、不整脈により全身へ血流を保てなくなった心臓に対し、ペースメーカーやICD（植込み型除細動器）等の電子機器を埋め込んだり、不整脈の原因となっている組織を先端に電極のついたカテーテルで焼灼する高周波カテーテルアブレーション治療などを行います。

・脳神経外科医師の担当としては、脳出血・クモ膜下出血・脳梗塞など脳血管性病変や脳腫瘍性病変の存在・質的診断を行います。出血の原因となっている動脈瘤をコイルと呼ばれる瘤を詰める物質を使用し血管の再破裂・出血を防ぐ治療をします。また、脳梗塞の原因となっている血の塊を吸引・回収したり、細くなった頸動脈をバルーンやステントで拡げ、脳に通う血流を保つ治療も行います。

・心臓血管外科医師の担当としては、腹部・骨盤領域にできた血管の動脈瘤に対して血管が破れないように保護する為に、ステント周囲に膜を張っているステントグラフトと呼ばれるデバイスを使用したり、下肢の血管の狭窄・閉塞による足の壊死を防ぎ、血流を維持する為にバルーンやステントを使用した治療を行います。

主に以上の科によって、チーム医療として検査・治療部位別に各科専門医師・看護師・診療放射線技師・臨床工学技士等がそれぞれの専門分野の領域で連携しながら業務に携わっています。また、術前にはカンファレンスを行ったり患者様の部屋に術前訪問に行ったりし、患者様の情報の収集や術式・治療方針等の共有もしています。

### 血管造影室のスタッフ



## 血管造影室で活躍する医療機器

超音波エコー



超音波エコーとは、人が聞くことのできない高い周波数の音波を使用し、この高い音の跳ね返りから、臓器や血管の動きなど、様々な情報をリアルタイムに知ることができる機械です。

OCT(光干渉断層撮影)



OCT(光干渉断層撮影)とは、光の干渉性を利用して、様々な情報を画像化する機械です。

## 血管造影室の風景



血管造影室 1



血管造影室 2



# ～ 集中治療室 ～

### 集中治療室の紹介

本院の集中治療室：ICU（intensive care unit）は、外科・内科の急性期の重症患者さんが入院する総合ICU（general ICU）です。病床数は8床でオーブンフロア側の内科・外科系のICU5床と、循環器系の患者が個室入院するCCU3床（coronary care unit＝冠動脈疾患ICU）で構成されています。ICUでは、内科系・外科系を問わず循環・呼吸・代謝、その他の急性機能不全で生命危機状態にあり医療依存度の高い患者さんに対し、強力かつ集中的に高度な医療を提供しています。

ICUには、24名の看護師と集中ケア認定看護師 兼 特定看護師1名、呼吸療法士5名、NST専門療法士1名、ストーマ認定士1名、診療情報管理士1名が所属しています。これらの医療スタッフと医師が毎日、ベッドサイドでカンファレンスを行い、治療方針や看護方針を確認し、生命予後に直結した急性期の重症患者さんが「安心・安全」に医療サービスを受けられるようチーム一丸となり取り組んでいます。

ICUでは、チーム医療が行われていますがICUで使用される器械に関しては、担当の臨床工学士が中心となり、安全に使用できるよう細かくチェックを毎日行っています。またICUのスタッフは、精密な器機をたくさん取り扱いますが、使用方法に間違いのないよう各自チェックを行い、患者さんの状態を確認しながら看護ケアを行っていきます。

このようにICUでは、患者さんが急性期の重篤な状態から、入院前の日常生活を少しでも取り戻すことができるよう、必要な機能維持と回復を目指した早期リハビリテーションやケアを行い、心理的危機状況にある患者・家族の精神的な支援も含めた専門性と質の高い医療の実践に努めています。

### 集中治療室のスタッフ



## 集中治療室で活躍する医療機器

ベッドサイドモニタ



心電図や血圧など、生体にとって重要な情報を、リアルタイムで測定、監視できる機器です。何らかの異常があった際は、アラーム音などで警告してくれます。

人工呼吸器



人工呼吸器とは、「人工的に呼吸させるための装置」であり、何らかの原因により、自分で十分な呼吸をすることが難しくなってしまった患者さんに使用する医療機器です。

## 集中治療室の風景



オープンフロア



CCU



その他、掲載しきれなかった多数の医療機器が診療を手助けしています



回診用X線撮影装置



シリンジポンプ



電動式手術台

## ニレシピ



## 鶏肉と野菜のトマト煮

今回は減塩でもおいしい煮込み料理にチャレンジ。  
鶏肉の下味の塩は不要。  
皮を香ばしくカリッと焼く、トマトの酸味と大豆の  
うまみを加えるなど工夫しています。



### <作り方>

- ① 鶏肉はんにくをかきまぶす。玉ねぎはくし型切りにする。
- ② フライパンにオリーブオイルと玉ねぎを入れ、皮目を下にして鶏肉を入れ、火を付ける。弱めの中火で玉ねぎを時々返しながらかきまぶす(鶏肉は返さない) 7~8分焼き、鶏肉の皮がきつね色になったら裏返して1分焼く。
- ③ 鶏肉と玉ねぎを端に寄せ、余分な脂を拭き取り、大豆とAを加え全体を混ぜて4~5分煮る。塩とコンソメ、しょうゆで味を調える。
- ④ 器に盛り、パセリを振る。

### <材料> (1人分)

鶏もも肉	60g
んにくのすりおろし	小さじ 1/4
こしょう	少々
小麦粉	少々
玉ねぎ	1/4 個(50g)
大豆(ドライパック)	25g
A	
{ ホールトマト缶(無塩)	100g
{ 水	50ml
オリーブオイル	大さじ 1/4
塩	0.3g
コンソメ	小さじ 1/2
しょうゆ	少量(1ml)
パセリ(みじん切りにする)	少々

### 栄養量

エネルギー 272kcal たんぱく質16.0g  
脂質18.3g 炭水化物14.3g 塩分 1.2g



今号は、当院の普段あまり見ることができない特殊部門のお部屋について特集しました。次号も同様に、あまり見ることができない部門をご紹介します予定です。

当院は今後も患者様を中心に、医師、看護師及びコメディカルが連携し、より良い医療を提供できるように努めてまいります。

引き続き「うらら」では当院の新しい動きや、特徴などをお知らせさせていただきます。